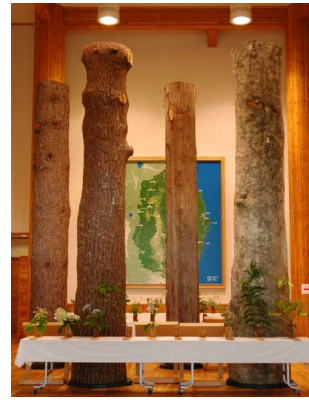


みんな、ありがとう！

夏休みのイベント報告

7月28日(木)～29日(金)、「第37回岩手県緑の少年団大会」が開催されました。県民の森は毎年この時期に、県内各少年団の交流と連携を図る「緑の少年団大会」に利用されています。

今年は総勢約560名の参加で、森林づくり体験、木工体験、キャンプ等を通じて交流を深めました。



7月28日(木)～8月1日(月)、県民の森に咲く野草を一堂に会するイベント、「自然展 夏一山路の花と野辺の花」を「県民の森に親しむ会」との共催で開催いたしました。おいで頂いた方々からは、「これ、その辺でよく見るけどこんな名前だったのね」という驚きの声を多数頂きました。自然展は秋にも予定されておりますので、お見逃しなく！

市町村の森って知ってる??

360haもの広さを持つ県民の森は、冒険の森、世界の森など、樹種や造成の経緯によってさまざまな森に分けられています。その中のひとつに、「市町村の森」があります。

この森は、昭和48年県内各市町村ごとのエリアに各市町村が指定した木を植樹した森で、以来毎年今頃の時期に、市町村や振興局の担当の方が私たちの代表として草刈などの管理を続けています。

そんな「市町村の森」ですが、皆さんはご自分が住んでいる市町村のエリアをご覧になったことがあるでしょうか？

どんな木が植樹されているか、どんな花が咲くか、知っていますか??

「市町村の森」は、様々な樹木の様々な変化を楽しめる素敵な場所です。ぜひ一度、愛着をもってご覧になってみてくださいね。



最後に、この市町村の森の管理に携わる盛岡地方振興局林務部・菅野上席林業改良指導員からのメッセージをご紹介します。

「各市町村それぞれに歴史と思い出のある市町村の森ですが、最近では市町村合併が進みつつあります。

合併後も、旧市町村名を残すなどして、これからも愛情をもって育てていって欲しいですね。」

県民の森流 楽しいお勉強シリーズ ～動物たちの不思議～

先月号まで似たもの同士の植物を比較してきたお勉強シリーズですが、今月号からは、皆さんと一緒に動物の不思議な世界を見ていきたいと思います。虫も動物も、人間顔負けのいろいろな知恵をもっていますよ。1回目の今回は「かたつむり」の不思議です。

かたつむり

Q かたつむりは、オスとメスの区別がなく、全てのかたつむりがオス・メス両方の機能を持っています。それでは、2匹のかたつむりが交尾したあと、卵を産むのはどちらのかたつむりでしょう？

正解は、「どちらも産卵する」です。

かたつむりは、お互いが細い管を相手に挿入して精子をやりとりします。交尾後両方が産卵するという繁殖方法は、移動範囲が狭いため互いに出会う機会が少なく、また親まで無事に育つ可能性が少ないかたつむり達のため、より確実に多くの子孫を残す戦略なのかもしれません。

ダッチオープンで野外料理をはじめよう

簡単フルーツケーキ キャンプの時こそケーキが食べたい！

材料(8人分、約1500円)

ホットケーキミックス半袋、卵2個、牛乳400cc、
フルーツカクテル缶大1個、ホイップクリーム

- ①ホットケーキミックスに卵と牛乳を混ぜ合わせる。
- ②フルーツカクテル缶のフタを開け、甘さを見ながらシロップのみを①に混ぜ合わせる。
- ③サラダオイルを薄くひいたアルミホイルをダッチオープンの内側に敷き、最初にフルーツカクテルを敷き詰めてから②の生地を流し込む。
- ④上下とも弱火で30～40分火にかける。下の火よりも、フタの上の火の方が少し強めの方がよい。串や箸を刺してみて、濡れた生地が付いてこなくなればOK。
- ⑤焼きあがったらダッチオープンに皿をかぶせ逆さにして、アルミホイルごとケーキを移す。
- ⑥丁寧にホイルをはがす。
- ⑦お好みでホイップクリームをきれいに飾って出来上がり。

今回のポイントはアルミホイル。糖分が多い料理の場合は、ダッチオープンに焦げ付いてしまうことが多いようです。底にアルミホイルを敷くと、後片付けも楽にすみますよ。



鈴木アキラ著「ダッチオープン&燗製入門」山と溪谷社 より

いま、県民の森では...

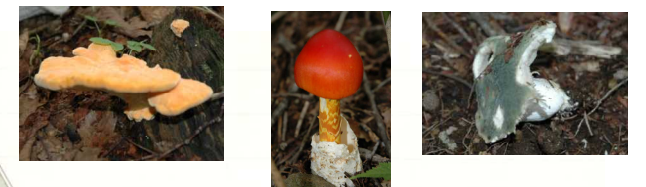
夏も終わりに近づき、県民の森も少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。

いよいよ、様々な木の実やキノコが楽しい色鮮やかな季節に突入です！

かわいらしいゲンノショウコもたくさん。実がはじける瞬間も絶対に見たい！！



オオウバユリも8月の初めに咲きそろいました。今は実の状態です。



七滝へ向かうトレッキングコースには、色とりどり様々なキノコが見られるようになりました。



ネジバナもランの仲間だって知っていますか？虫めがねで花をよーく見てみてください。きっと感動しますよ

「フォレストi」の、これが木になる！

～今日は「木の地産地消」のおはなし～

フォレストiは、全て岩手県産の木材を使って建てられているよ。

木材は、地元で使うことが1番。それは、遠くから木材を運んでくると、輸送によってCO2(二酸化炭素)という地球温暖化の原因物質が発生してしまうからなんだ。

外国から運んできた木材はお金のもさしでは安いけれど、CO2のものさしではとても高い買い物なんだね。輸送距離(木材の産地と消費地までの距離)×木材の量で出る数値を「ウッドマイレージ」といって、環境にやさしい木材利用の目安になっているよ。



しんはっけん
森発見!! 「県民の森」の歩き方

「県民の森だより」より、毎回「楽しい」自然観察をご提案しています。
 気負わずに森へ出かけてみませんか?ぜひ、県民の森でたくさんの森発見(しんはっけん)をしてください!

「なんだこりゃ?」から始めよう

森や林の中で「なんだこりゃ?」と思った経験、ありませんか? そこから突き詰めていくと、行き着く先にはとても不思議で楽しい世界が広がっているものです。あなたが「なんだ!?!」と思ったその瞬間を、大切にしてみませんか?



ミヤマツチリモチ
キノコじゃないよ。花なんです!
花は、表面の茶色いつぶつぷの内側に咲いているので見えないのだけれど...



タモゴケ
これはキノコ。名前のとおり、卵の殻のようなものが根元に残っています。真っ赤でよく目立ちます。



マタタビってどうして葉が白くなるのだろう? ... 受粉が終わると、緑色になるんだって。受粉を手伝う虫を呼んでいるのかな?



バッタがいるの、わかるかな? 体の色を周りと同じにする虫はたくさんいるんだよ。

9月の行事予定

- 9月1日(木)~9月末
フォレストiギャラリー
絵画展「八幡平野の花・野の鳥」
- 9月25日(日)
木工教室「段違い鉢台」
「環境の森整備」
(林業を体験してみませんか?)



本の森へようこそ

毎回、フォレストiの蔵書の中から1冊ずつご紹介していくこのコーナー。今回おすすめの本はこちら!

「昔遊び図鑑」 坂本 卓男 東京書籍

世の中お金があればなんでも手に入る時代。お金を出せば、「遊び」さえも手に入れることができます。

でも、少し立ち止まって思い出してみてください。

小さかった頃、「外で遊ぶ」というただそれだけのことが、どれほど楽しかったことか...

この本を読んで、昔の楽しかった思い出やわくわくした気持ちをもう一度呼び起こしてみませんか?

きっと、テレビゲームにはない、キラキラとした「遊び」の原点を見ることが出来るはずですよ。



編集後記

9月1日、いよいよ八幡平市誕生!
 松尾村が好きだった@は少し寂しいですが、そんな思いも乗せて、今月号では「市町村の森」を取り上げました。
 「市町村の森」が、改めて自分の暮らす地域に目を向けるきっかけとなってくれればうれしいです。

9月開花予報

初旬~中旬 ノコギリク、イヌタデ、ウメバチソウ
 中旬~下旬 ヤナギタンポポ、リンドウ、
 ナギナタコウジュ などなど
 実が見られます!
 ムラサキシキブ、ナナカマド、ノイバラ

県民の森だより

vol.5 H17年9月号
 発行 ... 岩手県県民の森



8月18日撮影

ヒルガオ (ヒルガオ科ヒルガオ属)

ヒルガオは、昼の間に花を咲かせその日の夕方にはしぼんでしまう、一日花です。
 皆さんご存知のとおり朝顔も夕顔も、もちろん夜顔だって存在します。アサガオとヨルガオは栽培種として珍重されていますが、ヒルガオは野生種で比較的どこにでも咲くようです。“雑草”といってしまうとそれまでなのですが、この“顔”を見たら、誰だって除去しようとは思わないですよね。
 アサガオやヨルガオのように栽培種としてちやほやされることもなく、ユウガオのように私たちの食卓にのぼることもないヒルガオですが、1日だけ見せてくれるこの顔が、私たちに何かほっとするものを与えてくれる気がします。

岩手県 県民の森管理事務所 **森林ふれあい学習館** フォレストi



〒028-7302
 岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5
 TEL・FAX 0195-78-2092
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1006/foresti/>
 E-mail BA0005@pref.iwate.jp
 foresti@mist.ocn.ne.jp (直通)

ACCESS アクセス

開館時間 9:00~16:00
 休館日 毎週火曜日
 (ただし、祝祭日の場合は翌日)
 駐車場 第1駐車場 20台
 (身障者、大型用駐車場あり)
 第2駐車場 約50台